

## 個人書店紹介企画

2024年12月  
法学部法学科3年  
細川 勸司

### 1. 目的・背景

本企画には2つの目的があります。1つ目は、地元の個人書店の魅力を大学生に向けて発信し、その活性化に少しでも寄与することです。この背景には、日本における書店数の急激な減少があります。また、書店総坪数の減少が比較的緩やかである点から、書店の大型化が進行していることがうかがえます。このような状況の中、個人書店が厳しい立場に置かれていると考え、私たちは個人書店を主軸とした本企画を実施しました。

2つ目の目的は、この企画を通じて、自分たち学生が「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」といった社会人基礎力を向上させるとともに、C3の活動のさらなる活性化を図ることです。

### 2. 実施日時、場所、C3参加者について

活動期間：6月～12月

場所：松山大学図書館 読書指導室

ご紹介した個人書店：本の轍、古書猛牛堂、古書と珈琲・雨読堂、読×舎、ツバメ書房、Buku Café&Book

C3参加者数：11名

### 3. 活動内容

本企画では、インタビュー班と資料作成班の2つの班に分かれて活動を行いました。インタビュー班は、愛媛県内の個人書店にアポイントを取り、実際に訪問してインタビューや写真撮影を行いました。インタビューでは、「個人書店を始めた理由」や「大学生におすすめの本」など、多岐にわたる質問を通じて各書店の魅力を深掘りしました。一方、資料作成班は、インタビュー班が収集した内容や撮影した写真をもとに、PowerPointやCanvaを活用して、個人書店の魅力を効果的に伝えるポスターを作成しました。



### 4. 所感

非常に有意義な経験をする事ができ、感謝しています。書店数の減少という問題意識を持ちつつ、実際に個人書店と直接連絡を取り、訪問してポスターを作成するという問題解決に向けた活動を行うことは、貴重な体験でした。

また、参加者全員が責任を持って行動したおかげで、大きな問題が発生することなく、無事に企画を遂行することができました。この活動を通じて、社会人基礎力の向上という目的は達成できたと考えています。

最後に、インタビューにご協力いただいた個人書店の店主の皆さまに、改めて感謝申し上げます。本企画を快く受け入れてくださり、ありがとうございました。